

The 5th ACUDR (第5回 アジア都市防災会議)に参加しました (2024/4/26-28)

テーマ：アジア都市防災会議, Build Back Better, 1999年台湾集集地震

会場：International Conference Hall, Dapinglin United Development Building, 新北市(台湾)

2024年4月26日から28日にかけて、台湾の新北市にて、台湾災害管理学会および地域安全学会が主催するThe 5th ACUDR(第5回 アジア都市防災会議)が開催され、当研究所の村尾修教授(国際防災戦略研究分野)が地域安全学会会長として参加しました。

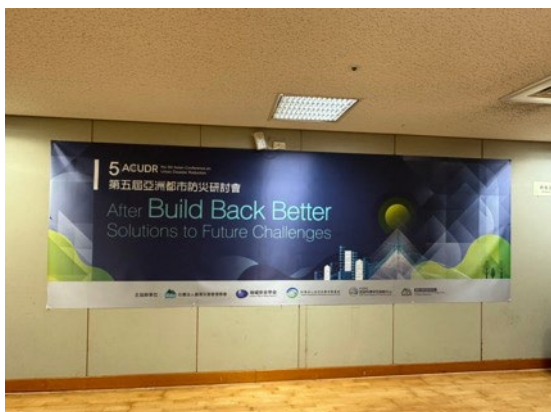
地域安全学会は、村尾教授主導のもと、アジアにおける防災関連学会間での幅広い交流を目的として2012年8月にいわき市にて台湾災害管理学会と韓国防災学会と連携協定を締結し、第1回ACUDRを開催しました。同国際会議はその後、2014年に台湾の新北市、2015年に韓国の高陽市、2017年に仙台市(第1回世界防災フォーラム内)で実施されてきました。2020年に発生したコロナ禍によりしばらく中断されていましたが、今年2024年は1999年台湾集集地震から25年、2009年台風モーラコットから15年を迎え、「After “Build Back Better”: Solutions to Future Challenges」のテーマのもと、7年ぶりの開催となりました。

初日の午前中は村尾教授が「Research on Urban Recovery in Chi-Chi for 25 Years Influenced by the 1999 Earthquake」と題した基調講演を行いました。また地域安全学会メンバーによる2024年能登半島地震に関する報告会が行われました。午後のセッションでは、当研究所に所属する加藤春奈氏と成田峻之輔氏(ともに大学院工学研究科)が以下のとおり研究発表を行いました。

- S. Narita, S. Sato, F. Imamura, T. Okamoto, S. Chiba: Digital Twin for Design of Tsunami Evacuation Guidance - Effectiveness Verification of Balloon-Type Signs using VR -
- H. Kato and O. Murao: Living Environment Assessment of Yuriage District, Natori City, before and after the Great East Japan Earthquake

27日と28日のフィールドトリップでは、台湾集集地震からの復興に関して長期にわたって現地で継続的に調査を続けてきた村尾教授からの説明を交えながら、九二一地震教育園区、集集镇、車籠埔断層保存園区、台湾国立消防署訓練センター、台中国立歌劇院などを訪問しました。今後起こりうる自然災害に備え、防災の取り組みにおいて、引き続き台湾と日本の交流に寄与する所存です。

文責：村尾修(国際防災戦略研究分野)
(次頁へつづく)



5ACUDR 会場



村尾教授の基調講演



加藤春奈氏の発表



成田峻之輔氏の発表



国家災害防救科技中心での集合写真



集集地震で被災し生まれ変わった集集駅舎



921 地震教育園區



台湾国立消防署訓練センターにて



車籠埔斷層保存園區